

## 日米比較

### 壮年世代の仕事、生活、余暇、インターネットに関する調査

2002年4月、日本と米国の壮年（五十歳以上）を対象とした調査が、インターネット上で実施されました。シニアの仕事、生活、余暇、インターネットとの関わりについて、意識と現状を統計しています。

米国では、「シニアネット」\*のウェブサイト上で56日間にわたって回答を募集。また「シニアネット」登録者あてメールレターでも回答を募ったところ、511名から回答が寄せられました。日本側の回答も、メールによるものです。

回答者の男女比は、米国が男性38%、女性62%、日本が男性85%、女性15%となりました。両国ともに回答者は、無作為に選ばれた人(ランダム・サンプル)ではなく、主にIT・コンピューターに関心があるシニアです。

\*)シニアネット(SeniorNet)とは？

1986年設立。本拠地は米国カリフォルニア州。ボランティアが中心となって独立運営される非営利組織。50歳以上のシニアの生活を豊かにし、その経験や知識を共有するために、コンピューター技術とインターネットへのアクセスの促進に関する情報や教育を提供する。コンピューター研修所は全米約240ヵ所。ウェブサイトのアクセス数は月間200万件以上。これまでシニアネットで教育を受けた人は数百万人に上る。www.seniornet.org

この調査結果に、興味深い類似や相違がみられ、シニアネットから翻訳の許可を得て、紹介します。

#### <資産>

アメリカ人エルダーの73%の人が、不自由ない生活をおくることができる十分な資産があると答えています。若い頃から資産運用に関心があり、50代前までに、必要な貯蓄額を算出し、老後に向けた投資をし、財テク情報の収集に努めています。仕事による収入よりも財テクなどの資産運用に関心があります。

一方日本人エルダーは、48%の人たちが、不自由ない生活を送る資産があると答えています。仕事の収入にしろ、資産形成にしろ40歳代以降に、関心を持ち始めるようです。

定年後に仕事を続ける取り組みについての質問では、「再就職の訓練」、「自分の知識・技術の見直し」、「再就職の情報収集」の項目で日本がアメリカを上回っています。定年後、アメリカ人エルダーは財テク、日本人エルダーは再雇用の考えが浮かんで見えます。

## <生活>

ボランティアに対する取り組みに大きな差異が見られます。「ボランティアを通じて社会に貢献している」エルダーは、米国では60%以上なのに対し、日本は30%強。社会事情や国民性、社会の仕組みの違いでしょうか。

次に着目すべき点は、米国エルダーの健康に対する意識の高さです。「健康に関する情報収集」を行っている人の割合を見ると、米国68%、日本37%と大きな開きが見られました。インターネットの利用目的に関する質問でも、「健康情報」の収集を目的とする米国人が79%という高い割合を占める一方、日本人は37%に留まりました。家族・知人と積極的に良い関係を持つと努力するのもアメリカ人エルダーです。日本人エルダーは、「いまさら」、「言わなくても分かるだろう」で努力をしないのではとの声も聞こえます。

老後についてアメリカでは、まったく関心がないかあるいは40歳代までにしっかり考えているかに2極化し、日本では40歳代以降に考え出す人が多い傾向です。

回答者の現在について		
	米国	日本
<b>自分は健康である。</b>		
1. その通り	35%	39%
2. まあそうだと思う	50%	50%
3. あまりそう思わない	13%	9%
4. まったく思わない	2%	1%
<b>不自由な生活を送るだけの貯金や資産が十分にある。</b>		
1. その通り	19%	9%
2. まあそうだと思う	54%	39%
3. あまりそう思わない	16%	34%
4. まったく思わない	11%	19%
<b>職があり、不自由な生活ができる収入を得ている。</b>		
1. その通り	8%	11%
2. まあそうだと思う	18%	28%
3. あまりそう思わない	26%	31%
4. まったく思わない	48%	30%
<b>新しいことを学んでいる。または趣味に打ち込んでいる。</b>		
1. その通り	50%	25%
2. まあそうだと思う	41%	49%
3. あまりそう思わない	7%	23%
4. まったく思わない	2%	3%
<b>家族との関係は良好だ。</b>		
1. その通り	61%	45%
2. まあそうだと思う	33%	39%
3. あまりそう思わない	5%	12%
4. まったく思わない	2%	4%
<b>友人や知人との関係は良好だ。</b>		
1. その通り	47%	32%
2. まあそうだと思う	38%	49%

3.あまりそう思わない	3%	16%
4.まったく思わない	10%	3%
<b>ボランティア活動を通じて社会に貢献している。</b>		
1.その通り	31%	9%
2.まあそうだと思う	33%	24%
3.あまりそう思わない	24%	41%
4.まったく思わない	11%	27%
<b>総じて自分の人生に満足している。</b>		
1.その通り	35%	6%
2.まあそうだと思う	56%	70%
3.あまりそう思わない	8%	22%
4.まったく思わない	1%	2%
<b>あなたにとって大切なものは？</b>		
	<b>米国</b>	<b>日本</b>
	平均点	
健康	2.14	2.74
配偶者や家族との関係	1.48	0.58
資産	0.54	0.71
友人・知人との関係	0.32	0.41
勉強や趣味	0.23	1.11
ボランティアなどの社会貢献	0.16	0.32
仕事と収入	0.1	0.12
<b>A. 壮年期に関わる下記のテーマに関心をもったのは、いつごろからですか？</b>		
<b>健康</b>	<b>米国</b>	<b>日本</b>
0.関心がない	19%	9%
1.二十代あるいはそれ以前	14%	6%
2.三十代以降	28%	14%
3.四十代以降	39%	39%
4.五十代以降	0%	32%
<b>資産運用</b>		
0.関心がない	8%	13%

1. 二十代あるいはそれ以前	18%	6%
2. 三十代以降	32%	17%
3. 四十代以降	43%	36%
4. 五十代以降	0%	28%
<b>仕事と収入</b>		
0. 関心がない	58%	16%
1. 二十代あるいはそれ以前	17%	4%
2. 三十代以降	10%	12%
3. 四十代以降	14%	32%
4. 五十代以降	0%	36%
<b>生涯学習や趣味</b>		
0. 関心がない	52%	10%
1. 二十代あるいはそれ以前	20%	12%
2. 三十代以降	14%	18%
3. 四十代以降	13%	32%
4. 五十代以降	0%	28%
<b>家族との関係</b>		
0. 関心がない	72%	11%
1. 二十代あるいはそれ以前	17%	8%
2. 三十代以降	7%	21%
3. 四十代以降	3%	33%
4. 五十代以降	0%	27%
<b>友人・知人との関係</b>		
0. 関心がない	62%	14%
1. 二十代あるいはそれ以前	19%	14%
2. 三十代以降	12%	16%
3. 四十代以降	8%	30%
4. 五十代以降	0%	25%
<b>ボランティア活動などの社会貢献</b>		
0. 関心がない	29%	32%
1. 二十代あるいはそれ以前	18%	4%

2. 三十代以降	20%	9%
3. 四十代以降	32%	22%
4. 五十代以降	1%	33%
<b>B. 下記について、現役で仕事をしている方は、現時点で行っている項目、また既に退職されている方は現役時代に行っていた項目すべてに丸をつけてください。</b>		
<b>健康関連</b>	<b>米国</b>	<b>日本</b>
エクササイズ・フィットネス	73%	62%
良好な栄養摂取	77%	63%
健康に関する情報収集	68%	37%
その他	17%	7%
<b>所得と資産運用</b>		
年金プラン・確定拠出型年金プランへの加入	64%	69%
退職後に不自由ない生活するために必要な貯蓄額を算出	50%	25%
老後に向けての貯蓄や投資	69%	25%
財テクに関する情報収集	52%	23%
その他	7%	7%
<b>仕事</b>		
定年後に別の仕事に就くための訓練	13%	39%
壮年期以降も働くために、自分の知識や技術を見直す	33%	56%
次のキャリアを早く始めるための早期退職	12%	11%
定年後の仕事のための情報収集	20%	24%
その他	13%	9%
<b>生涯学習と趣味</b>		
余暇に楽しめる趣味がある	85%	62%
旅行で行きたい場所の情報を探す	60%	37%
余暇に勉強したいテーマや分野がある	61%	44%
若い頃から楽しんでいるスポーツがある	14%	22%
その他	6%	6%
<b>家族や友人との関係</b>		
家族とよい関係を維持するように努めている	95%	73%
友人とよい関係を維持するように努めている	89%	51%

ご近所とよい関係を維持するように努めている	73%	20%
家族や友人と連絡を取るため、電子メールの使い方を覚えようとしている	87%	28%
その他	4%	5%
<b>地域貢献活動</b>		
ボランティア活動に参加	59%	26%
地域の学校や組織の活動に参加	33%	17%
近所や地域コミュニティでリーダー的役割	21%	34%
ボランティア活動について情報収集	39%	32%
その他	7%	21%
<b>上記のようなことを行うにあたって、もっとも役立つ情報源は何ですか？ 一番重要な情報源を挙げてください。</b>		
<b>テーマ</b>	<b>平均スコア</b>	
	<b>米国</b>	<b>日本</b>
マスメディア(新聞、雑誌、書籍、テレビなど)	1.44	2.27
インターネット	0.87	0.74
家族に相談	0.61	0.64
友人に相談	0.47	0.61
仕事をしているときに得た情報	0.46	0.65
専門家の講演やスピーチ	0.31	0.40
職場の同僚に相談	0.18	0.53
<b>C. 現在の仕事(有給・無給いずれの場合も)について</b>		
<b>現在どのような有給の仕事についていますか。ひとつだけ回答を選んでください。</b>		
現在、有給の仕事にはついていない	65%	48%
企業または団体に雇用されている	18%	18%
自営業	7%	28%
その他	9%	6%
<b>有給の仕事をしている場合、勤務時間の平均は週何時間ですか</b>	7.2時間	38.7時間 (W/OO)

無給の仕事をしている場合、勤務時間の平均は週何時間ですか	5.2時間	5.7時間
<b>D. インターネットの利用について</b>		
インターネットを利用する理由に該当するものをすべて挙げてください		
友人や親族との連絡	95%	73%
最新のニュースやできごとを知るため	74%	77%
チャット	12%	6%
ネット上の議論に参加	31%	19%
ゲーム	37%	14%
株価や投資関連情報のリサーチ	38%	30%
投資関連の取引	15%	11%
健康情報	79%	37%
その他上記に含まれていないテーマのリサーチ	71%	48%
オンライン・ショッピング	53%	30%
その他	9%	8%
<b>インターネット利用の主目的</b>		
友人や親族との連絡	51%	回答なし
最新のニュースやできごとを知るため	11%	
チャット	1%	
ネット上のディスカッションに参加	5%	
ゲーム	2%	
株価や投資関連情報のリサーチ	5%	
投資関連の取引	3%	
健康情報	4%	
その他上記に含まれていないテーマのリサーチ	17%	
オンライン・ショッピング	2%	
その他	7%	
<b>インターネットの利用時間</b>		
1週間の平均	17.8時間	13.7時間
<b>メールの送信数</b>		
1週間の平均数	21	17.9

<b>一番よくメールを交換する相手</b>		
子ども	22%	11%
孫	3%	1%
友人	50%	52%
ネットで知り合った友人や知人	12%	11%
その他	13%	24%
<b>ネット上のディスカッションやチャットへの参加頻度</b>		
毎日	16%	6%
週3～6回	7%	6%
週1～2回	3%	10%
月数回	7%	10%
月1回以下	16%	17%
参加したことがない	51%	51%
<b>インターネットに関する以下の記載について、あなたの意見を教えて下さい。</b>		
<b>未来をよくするために、インターネットは重要だ</b>		
賛成	83%	84%
反対	3%	6%
わからない	14%	10%
<b>わが国の国民は、基本的に全員インターネットを利用できるようになるべきだ</b>		
賛成	81%	64%
反対	9%	27%
わからない	10%	9%
<b>インターネットは、人間関係やコミュニケーションにとって有益ではなく、むしろ弊害となる</b>		
賛成	4%	13%
反対	84%	69%
わからない	12%	19%
<b>デジタル・デバイド(コンピュータの有無による情報格差)は深刻</b>		

<b>な問題だ</b>		
賛成	40%	41%
反対	18%	50%
わからない	31%	15%
<b>将来、デジタル・デバイド(コンピュータの有無による情報格差)は解消されると思う</b>		
賛成	40%	41%
反対	12%	34%
わからない	31%	15%
<b>E. 回答者のプロフィール</b>		
	<b>米国</b>	<b>日本</b>
<b>性別</b>		
男性	38%	85%
女性	62%	15%
<b>年齢</b>		
50 - 54	4%	42%
55 - 59	9%	21%
60 - 64	19%	22%
65 - 69	30%	9%
70 - 74	21%	4%
75 - 79	11%	1%
80 - 84	5%	0%
85%	1%	0%
<b>既婚・未婚</b>		
既婚	61%	90%
未婚	8%	3%
離婚	16%	4%
配偶者と死別	16%	3%
<b>子どもの人数</b>		
平均	3	3

<b>子どもと同居</b>		
同居している	11%	57%
同居していない	89%	43%
<b>親しい友人の人数</b>		
平均人数	10.1	回答なし
<b>定年後の生活</b>		
仕事を完全退職	72%	回答なし
パートタイム勤務	13%	
フルタイム勤務	11%	
専業主婦で外勤の経験なし	4%	
<b>現在も仕事を続けている方は、これまでの勤続年数について</b>		
10年以下	4%	11%
16～20年	6%	1%
21～25年	6%	5%
26～30年	10%	21%
31～35年	13%	6%
35年以上	51%	45%
専業主婦で外勤の経験なし	2%	4%